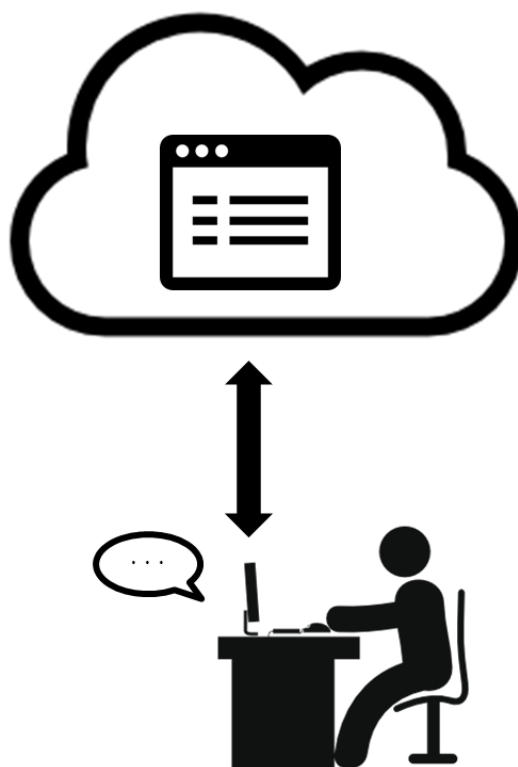


ChattyInfty Online

基本操作ガイド



「チャティ・インフティ・オンライン」は、目で文字を読むことが困難なかがたに提供するためのデージー教材等を手軽に製作できるウェブアプリケーションです。本サイトを利用することで、ワープロのような操作感で、高品質な合成音声のマルチメディアデージー図書等を製作することができます。

利用できるかたは、教育関係者および著作権法第 37 条第 3 項による権利制限の範囲内で視覚障害者等のための複製・公衆送信が認められる者等であって、資料の無償提供を目的とするかたに限らせていただきます。

「チャティ・インフティ・オンライン」は、国立大学法人筑波技術大学と社会福祉法人日本点字図書館が共同で、管理・運営をおこなっています。

※本サイトの利用にあたっては、Mozilla Firefox（最新版）を推奨いたします。

※「チャティ・インフティ・オンライン」は、平成 26 年度～27 年度 文部科学省委託「学習上の支援機器等教材研究開発支援事業」により開発をおこない、公益財団法人一ツ橋総合財団の助成により運用しています。

ChattyInfty Online

基本操作ガイド

本ガイドは、2019年6月現在の ChattyInfty Online を基に作成しています。

UI や機能・操作方法は、改修等により変更される場合があります。

目次

1. 文書の編集.....	1
1.1. 文書管理.....	1
1.2. 文書の新規作成.....	2
1.3. 文書の編集.....	3
1.4. 文書の保存.....	4
1.5. フォントの変更.....	4
1.6. テキストの入力.....	4
1.7. 斜体にする.....	5
1.8. 太字にする.....	5
1.9. 下線を引く.....	5
1.10. 打消し線を引く.....	5
1.11. 脚注番号・記号を付ける.....	5
1.12. 文字列の配置.....	6
1.13. 枠線で囲む.....	6
1.14. ルビをふる.....	6
1.15. テキスト置換.....	8
1.16. 表の作成.....	8
1.17. 段落のフォントサイズ変更.....	9
1.18. 配色の変更.....	10
2. 画像の挿入と編集.....	11
2.1. 画像の挿入.....	11

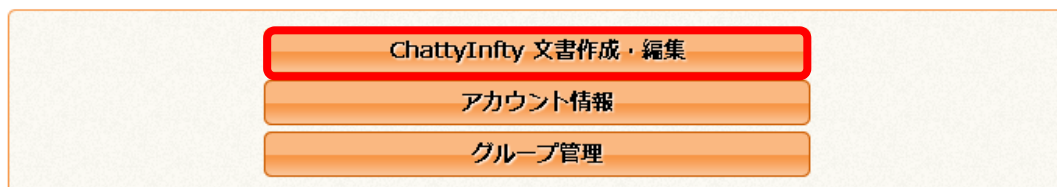
2.2. 画像の編集.....	11
3. 数式の編集.....	12
3.1. 数式の入力.....	12
3.2. 数式レベルの設定.....	13
3.3. 分数の入力.....	14
3.4. 指数・添え字の入力.....	15
3.5. 根号の入力.....	15
3.6. 連立方程式の入力.....	15
4. 化学式の編集.....	17
5. 音声の調整.....	18
5.1. 読み上げの ON/OFF.....	18
5.2. 標準話者の設定.....	18
5.3. 任意の文字列の話者変更.....	19
5.4. 読み設定.....	19
5.5. ポーズの挿入.....	22
5.5.1. 文字列への挿入.....	22
5.5.2. 画像への挿入.....	23
5.6. フレーズ分割の設定.....	23
5.7. フレーズ結合.....	24
5.8. 任意の箇所でのフレーズ分割.....	24
5.9. 任意の文字列の無音化.....	25
5.10. 単語辞書の選択.....	25
5.11. 単語辞書の編集.....	26

5.12. 単語辞書への新規追加.....	28
5.13. 文書に適用されている単語辞書の確認方法.....	29
6. コンテンツの構造化.....	30
6.1. ページ番号の設定.....	30
6.2. セクションの分割と階層化.....	31
6.2.1. 分割.....	31
6.2.2. 結合.....	32
6.2.3. 階層化.....	32
6.3. セクションの移動.....	33
6.4. セクションの名前変更.....	33
6.5. ファイルの追加読み込み.....	33
7. アニメーションの作成.....	35
7.1. 作成方法.....	35
7.2. アニメーションの編集.....	36
7.2.1. 読上げ音声・ポーズの付加.....	36
7.2.2. フレームの複製.....	37
7.2.3. フレームの削除.....	37
7.2.4. ファイルから挿入する.....	38
7.2.5. フレームの移動.....	39
7.2.6. マスキングツール.....	39
7.2.7. 再生テスト.....	41
8. 変換とダウンロード.....	42
9. 補足 ポップアップの許可.....	44

1. 文書の編集

1.1. 文書管理

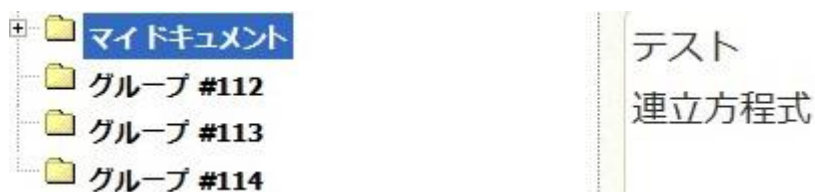
- ① ログイン後、**ChattyInfty 文書作成・編集** をクリックします。



- ② 文書管理が表示されます。














フォルダを選択すると、そこに保存されている文書の名前が表示されます。



※ 文書名にマウスカーソルを合わせてしばらくそのままにすると、最終更新時間が表示されます。

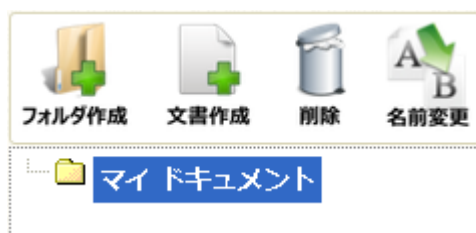
ツールバーの各機能は以下の通りです。


-  **フォルダ作成** 選択したフォルダの中に、新しいフォルダを作成します
-  **文書作成** 選択したフォルダの中に、新しい文書を作成します
-  **削除** 選択した文書・フォルダを削除します。削除したものは復元できません
-  **名前変更** 文書・フォルダの名前を変更します

- 
文書をコピーします
- 
文書を切り取ります
- 
コピー、または切り取った文書を選択したフォルダに貼り付けます
- 
選択した文書を編集します
- 
選択した文書を読み取り専用で開きます。編集はできません
- 
文書を変換して、PC へダウンロードします
- 
PC から ChattyInfty で作成した imlx ファイルをアップロードします

1.2. 文書の新規作成

- ① 文書を保存するフォルダをフォルダー一覧から選択します。



- ② ツールバーの  をクリックすると、「文書新規作成」が表示されます。文書名を入力し、利用する単語辞書を選択します。

※ 「単語辞書」とは、合成音声で読み間違いやすい語や専門用語、分野によっては一般と違った読み方をするような語を、適切に音声化できるように読み方を定義したものです。


※ 特定の教科の教材を製作しない場合は、「標準辞書」を選択します。



③ 作成した文書名が表示されます。



1.3. 文書の編集

文書を選択し  をクリックするか、文書をダブルクリックすると、編集画面に移動します。



上側はメニュー・ツールバー、左側は文書の見出し項目、右側には選択した見出しの文章などが表示されます。

※ 文書管理に戻りたい場合は、画面右上にある 文書管理へ戻る をクリックします。

1.4. 文書の保存

上書き保存 : [ファイル] → [上書き保存] / Ctrl + S

※ 自動バックアップ機能はありません。



1.5. フォントの変更

[ファイル] → [文書プロパティ] → [フォント]

※ 編集画面上で使用するフォントとサイズが変更できます。

※ 変換したファイルのフォントには反映されません。



1.6. テキストの入力

入力モードには、「テキストモード」「数式モード」「化学式モード」の3種類があります。

数式・化学式以外のテキストを入力する場合は、「テキストモード」を選択します。

[書式] → [テキストモード] / Ctrl + スペース で切り替え。



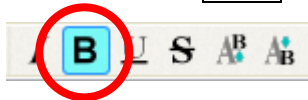
1.7. 斜体にする

文字を選択 → Ctrl + I



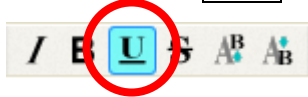
1.8. 太字にする

文字を選択 → Ctrl + B



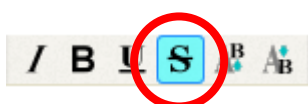
1.9. 下線を引く

文字を選択 → Ctrl + U



1.10. 打消し線を引く

文字を選択 → [書式] → [打消し線]



1.11. 脚注番号・記号を付ける

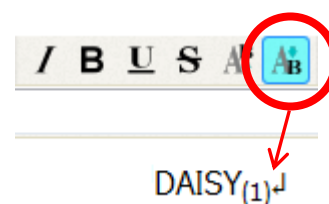
任意の文字や記号を、上付きあるいは下付きにすることができます。

文字・記号を選択／脚注番号・記号をつけたい語句の後に → ボタンをクリック

【上付き】



【下付き】



1.12. 文字列の配置

左寄せ : +

中央寄せ : +

右寄せ : +



1.13. 枠線で囲む

枠線で囲みたい語句を選択し、 から [標準の囲み枠] を選択します。



枠線を削除するには、枠線で囲まれた語句を選択し、 から [囲み枠なし] を選択します。

1.14. ルビをふる

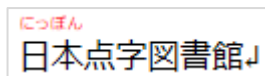
① 語句を選択 → + + → ルビ設定が表示されます。

※ 表示されない場合は、「補足 ポップアップの許可」をご覧ください。



② ルビを入力 →

選択した語句にルビがふられます。

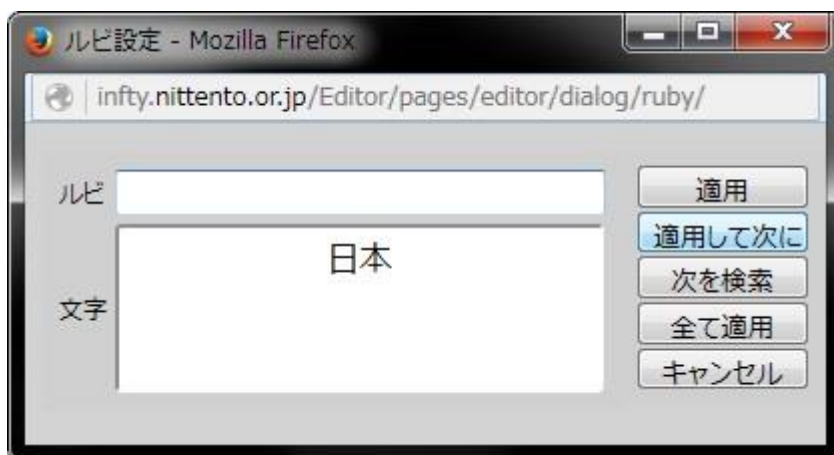


【ルビの削除】

① ルビをふった語句を選択 → + + → ルビ設定が表示されます。

※ 表示されない場合は、「補足 ポップアップの許可」をご覧ください。

② ルビの文字列を削除 →



【ルビ設定の便利機能】

を実行すると、まず選択した語句にルビが適用され、次に文書内の同じ語句が検索されます。

次の語句だけに同じルビを適用したい場合は、 を実行します。

次の語句にも同じルビを適用し、引き続き同じ語句の検索を続けるには、 を実行します。

次の語句には適用せず、同じ語句の検索を続けるには、 を実行します。

文書内の語句すべてにルビを適用するには、 を実行します。

1.15. テキスト置換

[検索] → [文字列置換]



【テキスト置換の便利機能】

置換して次に を実行すると、編集画面上で選択された文字列が置換され、次に文書内の同じ文字列が検索されます。

次の文字列には適用せず、同じ文字列の検索を続けるには、**次を検索** を実行します。

文書内の文字列すべてを置換するには、**すべて置換** を実行します。

1.16. 表の作成

[編集] → [表を挿入] / **Ctrl** + **Shift** + **T**

※ 表示されない場合は、「補足 ポップアップの許可」をご覧ください。

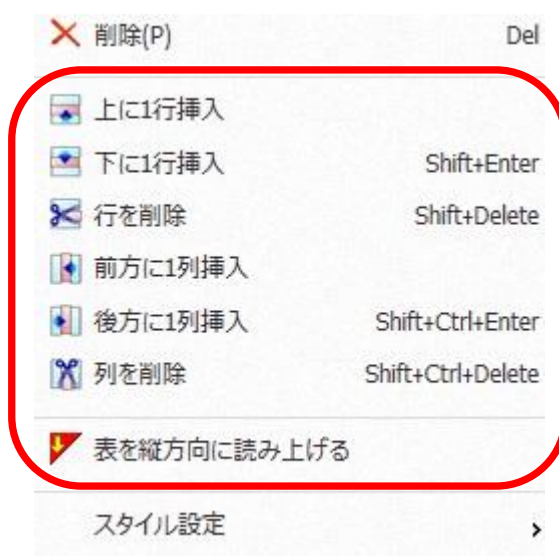
行数と列数を入力



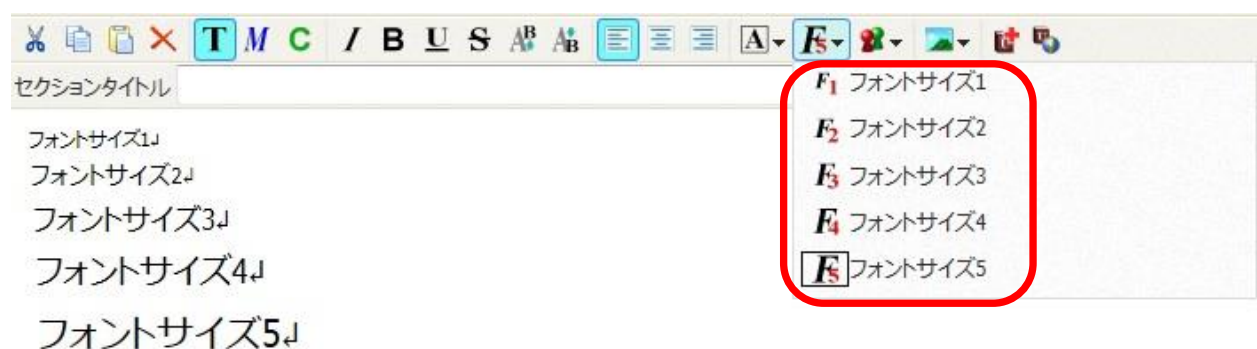
作成された表のセルに直接入力ができます。セルの幅は、入力文字数によって自動的に伸縮します。

一辺の長さ↓	1↓	2↓	3↓	4↓
まわりの長さ↓	↓	↓	↓	↓

表の上で右クリックすると表示されるコンテキストメニューから、さまざまな編集ができます。



1.17. 段落のフォントサイズ変更



【倍率】

フォントサイズ 1 : 60%

フォントサイズ 2 : 80%

フォントサイズ 3 : 100%

フォントサイズ 4 : 125%

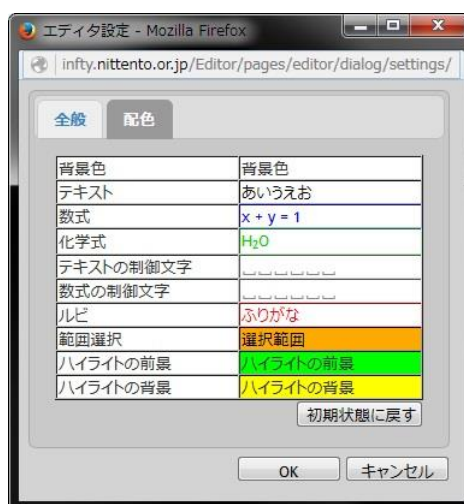
フォントサイズ 5 : 150%

※ この設定は変換したファイルにも反映されます。

1.18. 配色の変更

編集画面上の表示色の組み合わせを変更できます。

[設定] → [エディタ設定] → [配色]



2. 画像の挿入と編集

2.1. 画像の挿入

【PCに保存済みの画像を挿入】

方法1: 編集画面上の挿入したい場所にカーソルを移動 → ツールバーから[画像の挿入]ボタンをクリックし、任意の画像を選択。



方法2: エクスプローラ上で、画像ファイルをコピー → 編集画面上の挿入したい場所にカーソルを移動して **Ctrl** + **V**
※ 右クリックから貼り付けできません。

方法3: エクスプローラから編集画面へ、ドラッグ&ドロップしても貼り付けられます。

【外部アプリケーションから挿入】

外部アプリケーション（例: Adobe Reader・Windows アクセサリのペイント・ブラウザ）上で画像をコピー → 編集画面上の挿入したい場所にカーソルを移動し

Ctrl + **V**

※ 右クリックから貼り付けはできません。

2.2. 画像の編集

画像上で右クリック → [画像の設定] でサイズ調整、代替テキストの入力等ができます。
読上テキストに入力したテキストは、再生時に画像を同期する読み上げ音声になります。



サイズ調整は編集画面上で画像の右下をドラッグしながら拡大・縮小することもできます。

3. 数式の編集

3.1. 数式の入力

まず、入力モードを数式モードに切り替えます。

[書式] → [数式モード] / Ctrl + スペース



※ 数式を入力する際は、キーボードを半角英数入力モードにします。ひらがなモードのままにしておくと、斜体の全角文字が入力されますので、ご注意ください。

数式モードで入力された文字列は、青色で表示されます。

ある整数 A を $x^2 - 2x + 2$ で割ると、

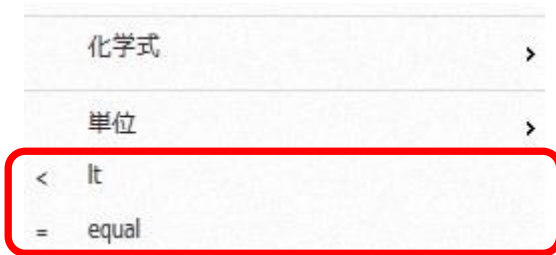
※ テキストモードで入力済みの文字列を選択し、数式モードに切り替えることもできます。

※ TeX コマンドで入力することもできます。

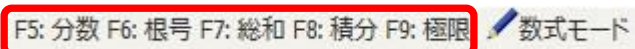
キーボード上の文字・記号のほか、右クリックで表示されるコンテキストメニューから様々な記号・文字・構文・単位を選んで入力できます。



一度選んで入力した記号・文字・構文・単位は、コンテキストメニューのリスト下に直近5個まで表示されます。再度入力する際は、ここから選ぶと便利です。



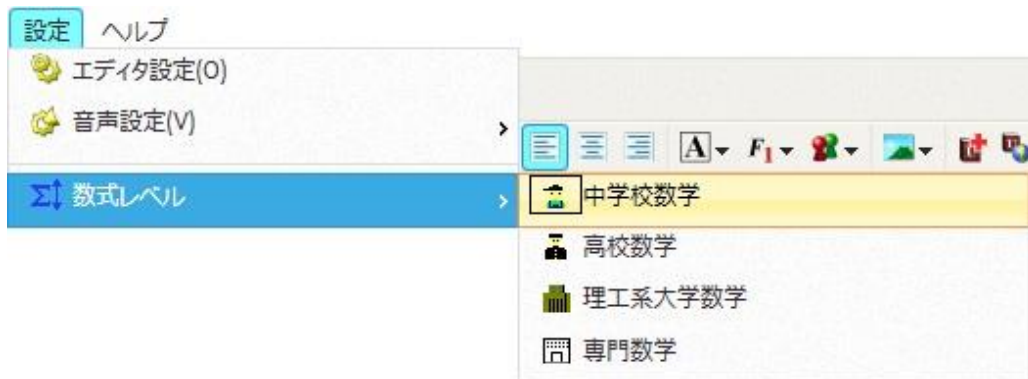
多用する分数・根号などは、上記の方法以外に、ファンクションキーでも入力できます。対応するキーは、入力を数式モードに切り替えると、編集画面下部に表示されます。



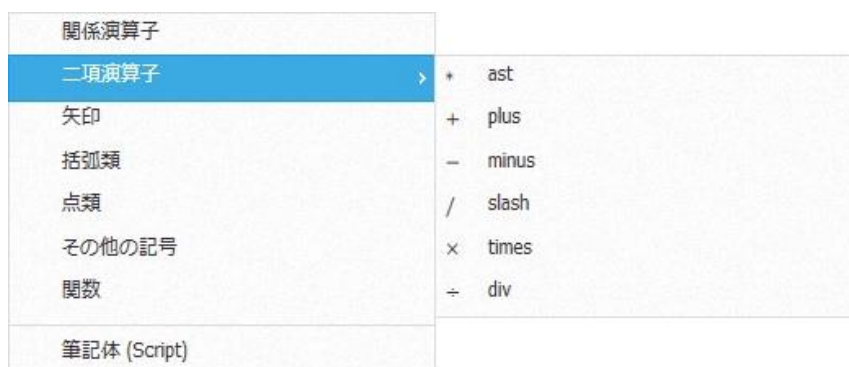
3.2. 数式レベルの設定

[設定] → [数式レベル]

あらかじめレベルを設定しておくことによって、コンテキストメニューに表示される入力候補を、目的に合ったものにすることができます。



【例：中学校数学の2項演算子】



【例：専門数学の2項演算子】

関係演算子		
二項演算子	二項演算子 (1)	& ampersand
矢印	二項演算子 (2)	+ ast
括弧類	二項演算子 (3)	+ plus
点類		- minus
その他の記号		/ slash
関数		\ backslash
		± pm
		∓ mp
		× times
		÷ div
ドイツ文字 (German)		
太字 (Blackboard Bold)		
花文字 (Calligraphic)		
筆記体 (Script)		

3.3. 分数の入力

① 数式モードで **F5**

横線が引かれ、分子あるいは分母の位置にカーソルが移動します。

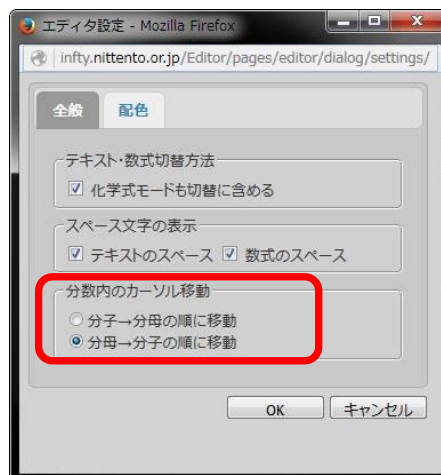
② **Enter** / **↑** / **↓**

分母あるいは分子の位置にカーソルが移動します。





③ **Enter** / **→**

分数の外にカーソルが移動します。




※ 横線が引かれた後、最初にカーソルが分子・分母どちらに移動するかを、[設定] → [エディタ設定] → [全般] タブの「分数内のカーソル移動」で指定できます。






3.4. 指数・添え字の入力

- ① 数式モードで、指数・添え字を与えたい数字や記号の左／右で、 / 
カーソルが移動します。
- ② 指数・添え字を入力したら、 / 
指数・添え字を与えた項の外にカーソルが移動します。

3.5. 根号の入力

- ① 数式モードで、
根号が現れ、根号内にカーソルが移動します。
- ② 数字・数式等を入力したら、 / 
根号の外にカーソルが移動します。

3.6. 連立方程式の入力

- ① 半角英数入力モードで、 → リストから  を選択 → 

V	
Ž	¥Zacute
ž	¥zacute
Ž	¥Zcheck
ž	¥zcheck
Ž	¥Zdot
ž	¥zdot
ζ	¥zeta
[括弧]	¥{
[括弧]	¥()
[括弧]	¥

- ② 括弧が入力されます。

{ ↓

- ③ 1行目の式を入力 → Shift + Enter

括弧が伸びて、空行が作られます。

$$\{ 3x - 4y = 2 \downarrow \quad \longrightarrow \quad \left\{ \begin{array}{l} 3x - 4y = 2 \\ \end{array} \right. \downarrow$$

- ④ 2行目を入力します。入力後、Enter でカーソルを方程式の外に出します。

$$\left\{ \begin{array}{l} 3x - 4y = 2 \\ 2x + 3y = -10 \end{array} \right. \downarrow$$

※ Shift + Delete でカーソルがある行を削除できます。また括弧も縮みます。

※ 連立方程式に限らず、() や [] などの括弧類に複数行書く場合も、同様に行います。

4. 化学式の編集

[書式] → [化学式モード]



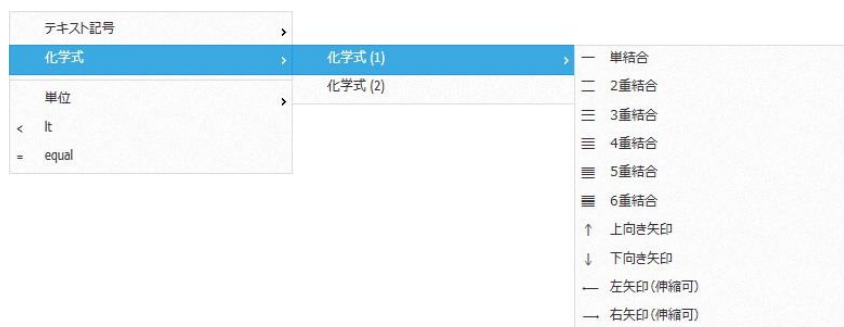
※ 数式モードと同様に、**Ctrl** + **スペース** で入力モードを切り替えるには、[設定] → [エディタ設定] → [全般] で、「テキスト・数式切替方法」の「化学式モードも切り替えに含める」にチェックを入れておきます。

※ 化学式を入力する際は、キーボードを半角英数入力モードにします。ひらがなモードのままにしておくと、斜体の全角文字が入力されますので、ご注意ください。

化学式モードで入力した文字列は、**緑色**で表示されます。



キーボード上の文字・記号のほか、右クリックで表示されるコンテキストメニューから様々な記号・文字・構文・単位を選んで入力できます。



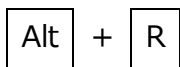
一度選んで入力した記号・文字・構文・単位は、コンテキストメニューのリスト下に直近5個まで表示されます。再度入力する際は、ここから選ぶと便利です。



※ その他の化学式の入力方法は、数式の場合と同様です。

5. 音声の調整

5.1. 読み上げの ON/OFF



ON にしたら → カーソルを読み上げさせたい行に移動 → カーソルのあるフレーズの先頭から読み上げを始めます。

※ ハイライト表示の ON/OFF は、「音声 ON/OFF」右側のボタンで設定します。



5.2. 標準話者の設定

[設定] → [音声設定] → [日本語音声設定]



標準話者として、「のぞみ」(女性) か 「せいじ」(男性) を選ぶことができます。

初期設定では「のぞみ」が標準話者です。

変更しない限り、文書を通じて標準話者の声で読み上げます。

5.3. 任意の文字列の話者変更

必要に応じて、任意の文字列を標準話者以外の話者に変更することができます。

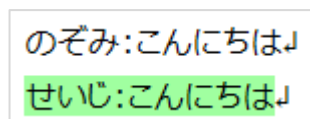
- ① 話者を変更したい文字列を選択 → 「話者切り替え」 ボタン



- ② 話者を選択。



- ③ 語句・文章の背景色が変わり、その部分の音声が選択した話者になります。



- ※ 2019年6月20日現在、「haruka」と「zira」の読みに問題があることが確認されています。特に、「haruka」に問題がありますので、ご注意ください。
- ※ この設定は、変換したファイルの音声にも反映されます。ただし、背景色は反映されません。
- ※ 解除する際は、音声設定をした語句・文章の上にカーソルを移動させ、「話者切り替え」ボタン → 「話者を削除」を選択します。

5.4. 読み設定

読み上げ音声が不自然であったり間違っていたりした際に、文書内の任意の語句に対して読みを設定することができます。

- ① 語句を選択 → Ctrl + Shift + ↓ → 読み設定ダイアログが表示されます。

- ※ 表示されない場合は、「補足 ポップアップの許可」をご覧ください。

- ② 「ひらがな」 / 「カタカナ」 / 「漢字」 / 「英数字」で、設定したい読みを入力。



- ③ テスト ボタンで試聴 → よければ、適用。

- ④ アクセントの調整が必要な場合は、アクセントの山となる文字の後ろに**全角アポストロフィ**を付けます。

また、語句を**全角アンダーライン**で区切ると、アクセントの山を2か所以上作ることができます。



読み設定された語句には、アンダーラインが表示されます。

日本点字図書館

【読み設定の解除】

① 読み設定した語句を選択 / 読み設定した語句の上にカーソルを移動

→ + + → 読み設定が表示されます。

※ 表示されない場合は、「補足 ポップアップの許可」をご覧ください。

② 読みを削除し、

【読み設定の便利機能】

を実行すると、編集画面上で選択された語句に設定が適用され、次に文書内の同じ語句が検索されます。

次の語句だけに同じ設定を適用したい場合は、 を実行します。

次の語句にも同じ設定を適用し、引き続き同じ語句の検索を続けるには、 を実行します。

次の語句には適用せず、同じ語句の検索を続けるには、 を実行します。

文書内の語句すべてに設定を適用するには、 を実行します。

【読み設定時の注意事項】

※ 入力する読みは、日本語として「正しい仮名表記」ではなく、「**発音に近い表記**」にすると、より自然な読みにできます。

<例：漁師町>

○ 「りょーし'まち」

× 「りょうし'まち」

※ 設定範囲には、**単語だけでなく助詞等も含めると**、より自然な読みにできます。

<設定範囲の例>

○ 「祖父には、二男一女がありました。」

× 「祖父には、二男一女がありました。」

※ 読み設定をすると、**そのすぐ後の語句の読みまで変化してしまう**ことがあります。

特に、**漢字が音読みになる**傾向がありますので、ご注意ください。

読み設定をした後は、必ずその前後を聴き直してください。

※ 読み設定をすると、**その前後の語句との間にあったポーズがなくなる**ことがあります。

これにより、文章全体が聴きにくくなる恐れがありますので、ご注意ください。

読み設定をした後は、必ずその前後を聞き直してください。

聴きにくくなっていた場合は、該当箇所にポーズを挿入し、調整してください。

5.5. ポーズの挿入

5.5.1. 文字列への挿入

任意の箇所に、「**短ポーズ**」と「**長ポーズ**」の2種類を挿入することができます。

短ポーズは息継ぎなどの間に、長ポーズは語句間を1拍以上はっきり空けたい場合などに用います。

※ 表示上、間隔が空きますが、変換したファイルにこの見た目のスペースは反映されません。

① 短ポーズ : 赤色の **[S]** で表示

方法1 : **[Ctrl]** + **[Shift]** + **[S]** (入力モードは何でもよい)

方法2 : テキスト入力モード かつ 半角英数入力モードで、**[Shift]** + **[スペース]**

【挿入例】

実数には、有理数と**[S]**無理数がある。

② 長ポーズ : 茶色の **[L]** で表示

方法1 : **[Ctrl]** + **[Shift]** + **[L]** (入力モードは何でもよい)

方法2 : 数式入力モード かつ 半角英数入力モードで、**[Shift]** + **[スペース]**

【挿入例】

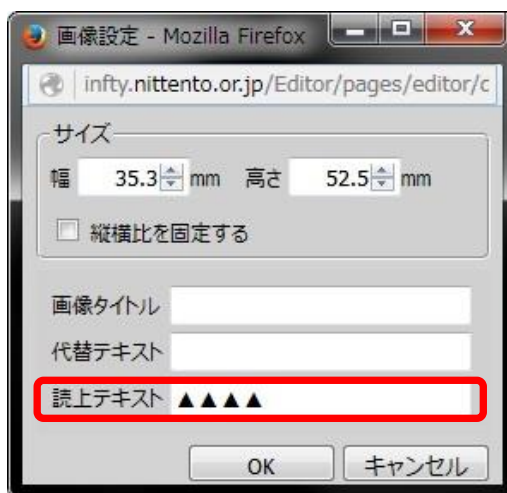
3-1. **[L]** 次の計算をせよ↓
(1) **[L]** $(4 + \sqrt{5}i) - (3 - 2\sqrt{5}i)$ ↓

5.5.2. 画像への挿入

読み上げの際に、画像の箇所である程度の長さの無音状態を作りたい場合の操作です。

- ① 画像を選択 → 右クリック → [画像の設定]
- ② 読上テキストに、●もしくは▲を必要な数だけ入力。

●は一つ 150 ミリ秒、▲は一つ 350 ミリ秒のポーズになります。



5.6. フレーズ分割の設定

[設定] → [音声設定] → [日本語音声設定] → [フレーズ区切り設定]

フレーズの区切り目（一度にハイライトする単位）を設定できます。（英語音声、数式音声の場合も同様です）



※ どこで分割するかにより、読み上げ音声の息継ぎの具合も変化します。

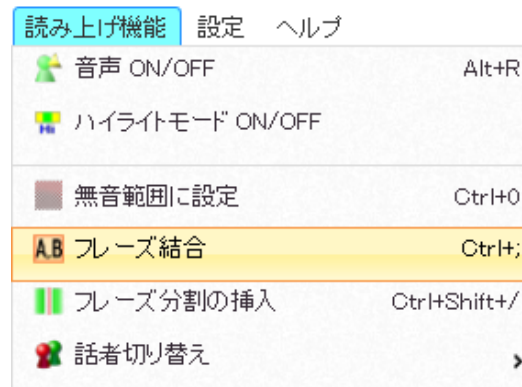
※ この設定は、変換したファイルにも反映されます。

5.7. フレーズ結合

予め設定した個所ではフレーズを分割したくない場合、任意の文字列を1フレーズにすることができます。

1フレーズにしたい文字列を選択 → [読み上げ機能] → [フレーズ結合]

／ **Ctrl** + **;** (セミコロン)



※ 上記操作により結合したフレーズは、赤色の枠で囲われます。

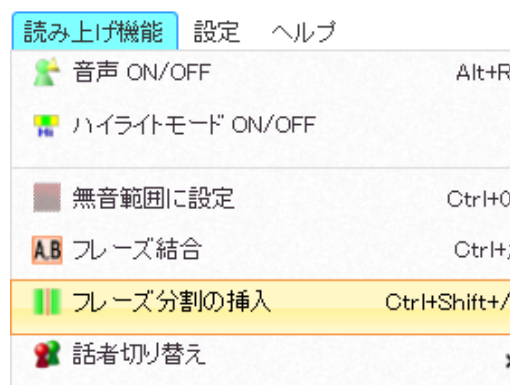
このあと3、4人にインタビューしたところ、

5.8. 任意の箇所でのフレーズ分割

予め設定した個所以外の任意の箇所ではフレーズを分割することができます。

フレーズを分割したい箇所にカーソルを移動 → [読み上げ機能] → [フレーズ結合]

／ **Ctrl** + **Shift** + **/** (スラッシュ)



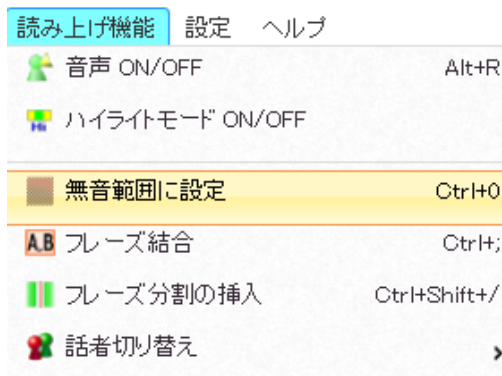
※ 上記操作により分割した箇所には、赤色の縦線が表示されます。

日時: 2017年7月15日(土) 午後13時30分

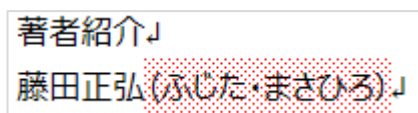
5.9. 任意の文字列の無音化

無音化したい文字列を選択 → [読み上げ機能] → [無音範囲に設定]

／ Ctrl + 0 (ゼロ)



※ 選択した範囲に赤い斜線のハッチがかかり、その部分を読み上げなくなります。



※ 無音化を解除するには、設定部分にカーソルを移動 → Ctrl + 0 (ゼロ)

5.10. 単語辞書の選択

「単語辞書」とは、合成音声で読み間違いやすい語や専門用語、分野によっては一般と違った読み方をするような語を、適切に音声化できるように読み方を定義したものです。システム辞書として、あらかじめ数種類の単語辞書が用意されています。

教科書等を製作する場合は、製作を始める前に適切な単語辞書を選択しておきましょう。

① [読み上げ機能] → [単語辞書の選択]



② [システム辞書一覧] → 単語辞書を選択 → OK

※ [ファイル一覧]から文書を選択すると、システム辞書ではなく、選択した文書に使用されている単語辞書を適用することもできます。



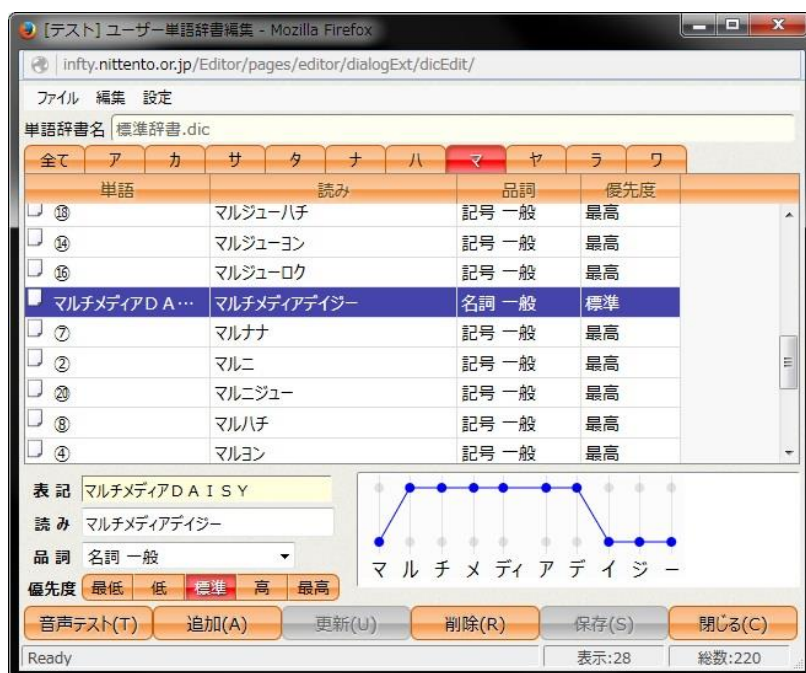
5.11. 単語辞書の編集

選択中の単語辞書の内容を編集することができます。

① [読み上げ機能] → [単語辞書の編集]



② 単語一覧から編集したい単語を選択

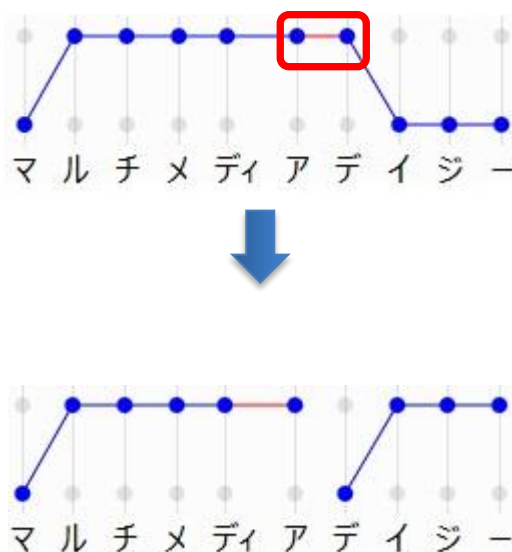


③ 読み・アクセント等を調整

※ アクセントを調整するには、●をドラッグしたまま上下します。または●をクリックすることで、そちら側に●が移動します。



※ アクセントの山を二つ以上作る場合は、●と●の間の線にカーソルを合わせます。線の色が赤く変化しますので、その状態でダブルクリックすると語を切り離されます。



※ 分離したアクセントの山を結合するには、●と●の間の線にカーソルを合わせます。

赤の破線が表示されますので、その状態でダブルクリックすると結合されます。



④ 更新 → 保存

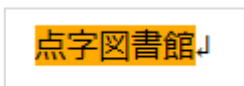
※ 追加 をクリックすると、「単語の追加」が開き、新規単語を登録することができます。アクセントの調整方法は同前。



5.12. 単語辞書への新規追加


単語辞書に新規単語を登録することができます。

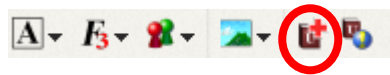
① 編集画面上で、登録したい文字列を選択します。



② [読み上げ機能] → [単語の追加]



もしくは、ツールバー右端の  をクリック




③ 「単語の追加」が開き、新規単語を登録することができます。

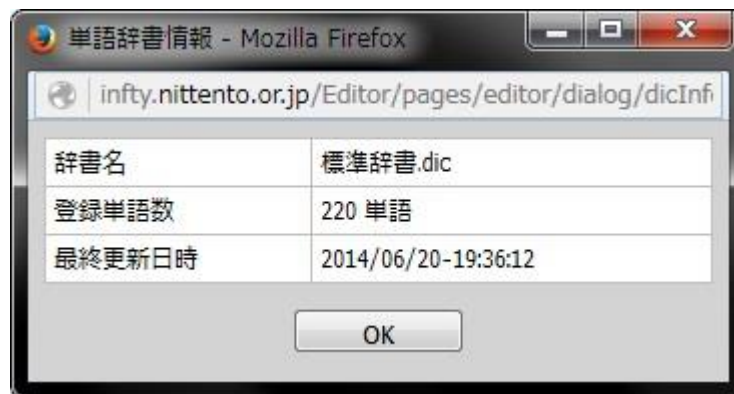
アクセントの調整方法は、前項の場合と同様です。



5.13. 文書に適用されている単語辞書の確認方法

[読み上げ機能] → [単語辞書の情報]

もしくは、ツールバー右端の  をクリック。



※ 編集画面右上にも、現在適用されている辞書名が表示されます。



6. コンテンツの構造化

構造化とは、章や節といったセクションごとに区切って見出しをつけたり、原本のページ番号を付加したりなどして、文書を一定の「意味のまとまり」ごとに構成された形にすることです。

プレーンな状態のテキストデータなどは、例えば長大な巻物のようなものですので、読者が利用しやすいよう必ず構造化しましょう。

6.1. ページ番号の設定

教科書など、原本のページ情報が必要なコンテンツを製作する場合に設定します。

- ① 数字を入力・選択 → 右クリック → [スタイル設定] → [ページ番号]



- ② 数字左側に「ページ番号」という文字が表示され、ページ番号として設定されます。ページ番号の行は、自動で右寄せになります。



※ この構造化作業により、DAISY などへ変換したファイルがページ単位で移動できるようになります。

※ 設定を解除するには、ページ番号を設定した部分に、再度、ページ番号を設定します。

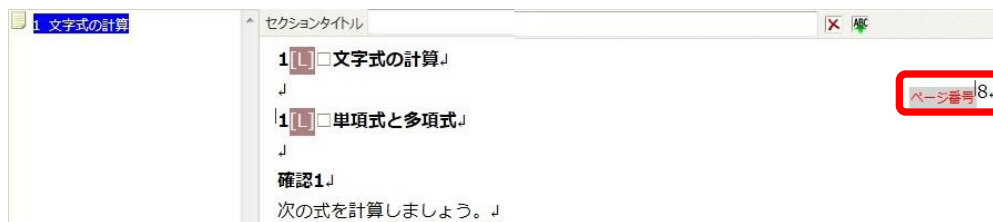
6.2. セクションの分割と階層化

6.2.1. 分割

- ① 見出しにしたい行の先頭にカーソルを移動させます。

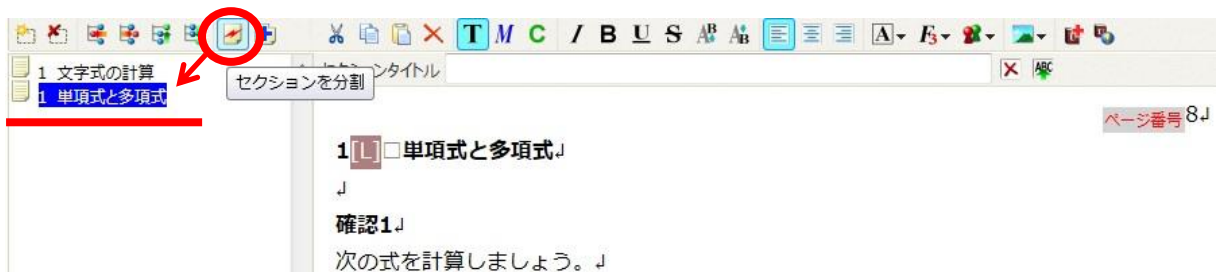


- ※ 見出しがページの先頭（ページ番号行の直下）にある場合は、ページ番号の先頭にカーソルを移動させます。（あらかじめページ番号の設定がされている必要があります。）



- ② **セクションを分割** をクリックすると、カーソルを置いた行が見出しとなり、それ以降の文章が、新たなセクションになります。

- ※ ページ番号は、見出しにはなりません。



6.2.2. 結合

セクションを結合する場合は、該当する見出しを選択して、**セクションを連結** をクリックします。

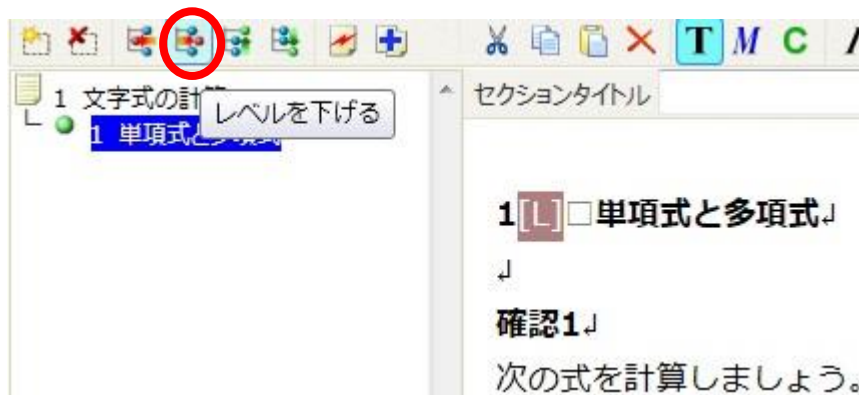


ひとつ目のセクションに結合されます。



6.2.3. 階層化

見出しを選択して、**レベルを下げる** / **レベルを上げる** をクリックし、セクション間の関係性を階層化します。以上の作業により、変換したファイルが見出しやそのレベルごとに移動できるようになります。



6.3. セクションの移動

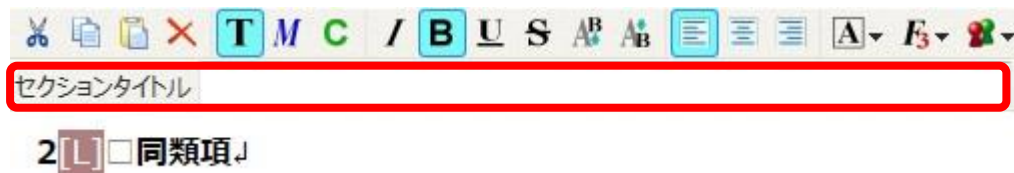
見出しを選択して、**前に移動** / **後ろに移動** をクリックすると、セクションの順序を変更することができます。



6.4. セクションの名前変更

セクションの名前を変更するには、変更したいセクションを選択後、「セクションタイトル」に新しい名前を入力します。

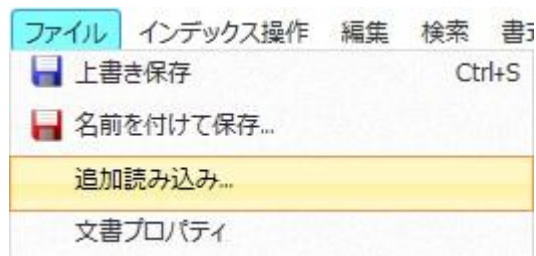
※ セクションタイトルと見出し行は一致しているのが理想的です。



6.5. ファイルの追加読み込み

見出しの末尾に、これまでに作成した文書を読み込み、結合することができます。1つのタイトルを分担製作する場合などに便利です。

- ① [ファイル] → [追加読み込み]



- ② 追加したい文書を選択し、**開く** をクリックします。



③ 末尾に追加されます



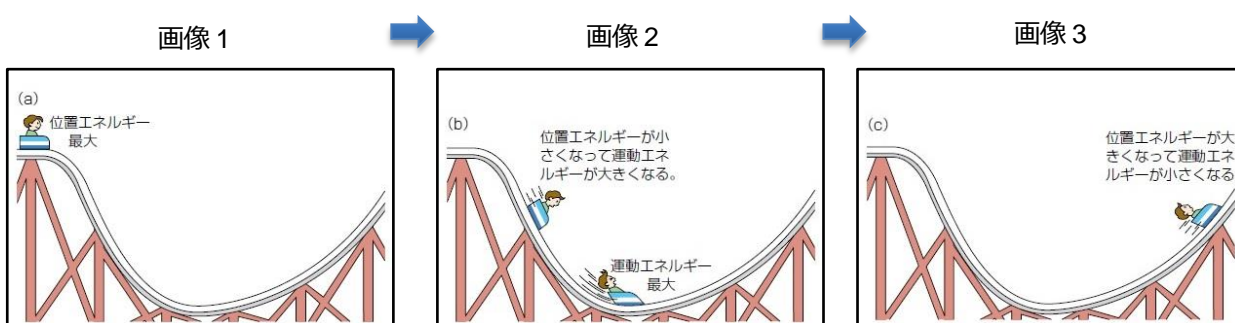
7. アニメーションの作成

複数の画像をアニメーションのように表示させることができます。

※ 2019年6月20日現在、アニメーションの検証が終わっていません。不具合が出る可能性がありますので、ご注意ください。

ChattyInfty Online の編集画面上では、複数の画像各々に設定されたテキストの音声と同期して、画像を切り替えてアニメーションのように表示させることができます。

【画像の切り替えによるアニメーション表示のイメージ】



※ 画像の出典：『中学校 科学 3』（学校図書株式会社, 平成 25 年） p.51

7.1. 作成方法

- ① アニメーションを挿入したい場所にカーソルを移動 → アニメーションに用いる画像を貼り付ける。
- ② 画像を選択して右クリック → [アニメーション編集]

図11 □「ジェットコースターの運動」



アニメーション編集で、読み上げ音声やフレーム（コマ）の編集等ができます。詳しくは、「7-3. アニメーションの編集」参照。

7.2. アニメーションの編集


「アニメーション編集」で行います。

編集画面上で画像やアニメーション領域を選択 → 右クリック → [アニメーション編集]



7.2.1. 読み上げ音声・ポーズの付加

「読み上げテキスト」に、各フレームに対応したテキストを入力します。フレームとは、アニメーションのひとコマとなる画像のことです。

「読み上げテキスト」の右にある  ボタンで、入力したテキストの読み上げテストを実行できます。

※ 各フレームの「読み上げテキスト」には、何らかの入力がされている必要があります。
(空欄にしておくと、決定時にエラーが出ます)

※ アクセントを調整する際は、調整したい範囲を半角の < > で囲い、カナで入力します。アクセントの山にしたい語には、後ろに全角アポストロフィあるいは半角シングルコーテーションを付します。

【例】運動<エネルギー>最大

※ 音声ではなくポーズを付加したい場合は、画像にポーズを入れる際と同様に、●や▲を必要数入力するとよいでしょう。

● = 150 ミリ秒 ▲ = 350 ミリ秒

7.2.2. フレームの複製

複製したいフレームを選択 → **フレームのコピー** → コピーが次のフレームに挿入

※ 選択したフレームの読み上げテキストもコピーされます。



7.2.3. フレームの削除

削除したいフレームを選択 → **フレームを削除**



7.2.4. ファイルから挿入する

ファイルから挿入 で、ファイル選択ダイアログから新たなフレーム画像を挿入することが出来ます。



挿入する画像サイズの調整

既存のフレーム画像サイズと、新たに挿入する画像のサイズが異なる場合は、以下のウィンドウが表示されますので、任意の形式を選択して挿入して下さい。



サイズの指定方法は下記の3通りです。

① トリミング

画像を拡大縮小せず、現在のフレームサイズに収まるように切り取ります。

※ 切り取り位置の指定は **トリミングオプション** で指定できます。

② リサイズ (フィット)

画像の縦横比を保持したまま、フレームサイズに収まるように拡大縮小します。

③ リサイズ (ストレッチ)

画像の縦横をフレームに収まるように拡大縮小します。

※ トリミングとリサイズ (フィット) の場合、余白が発生しますが、背景色の変更で任意の色を指定できます。

7.2.5. フレームの移動

▲上に移動 / **▼下に移動** で、任意にフレームの順番を変更できます。



7.2.6. マスキングツール

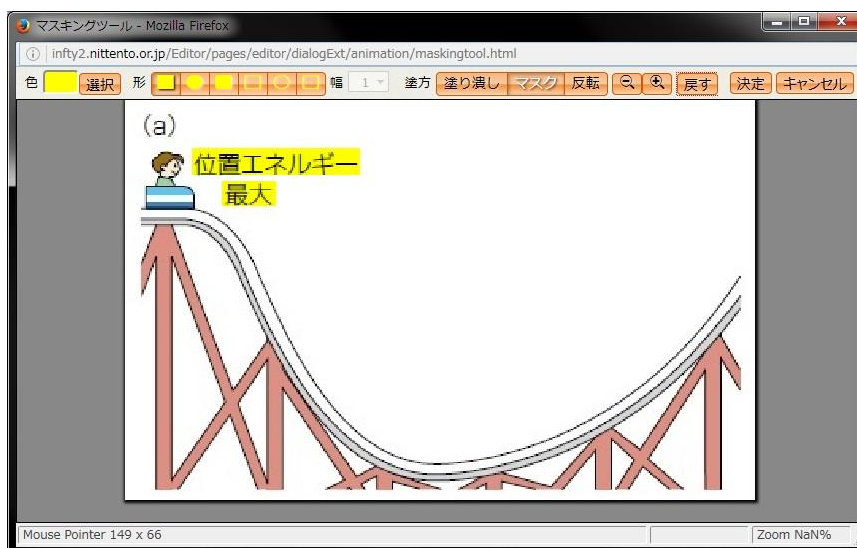
マスキングツールは、フレーム画像に矩形や楕円で着色する簡易ツールです。

マスキングツール が、選択中のフレームをダブルクリックすることで、マスキングツール画面が表示されます。

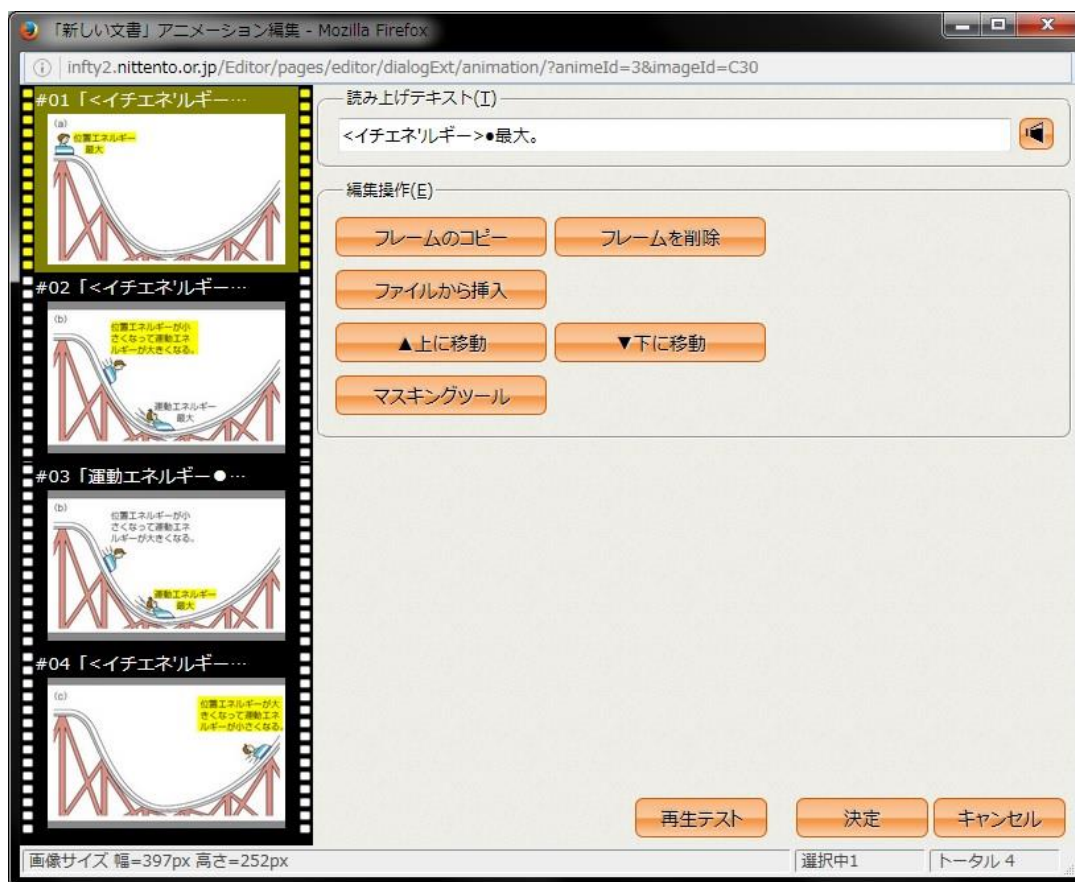
例えば、画像中のテキストにマスキングすることで、アニメーション再生時にテキストハイライトしているように見せることができます。

次の例では、ハイライトの色を「黄色」、形は四角形で塗りつぶし、塗方は「マスク」を選

押し、「位置エネルギー最大」の部分を選択してマスク処理しています。



さらに、マスクングしたテキストをその画像の読み上げテキストにすると、アニメーション再生時にテキストハイライトと音声同期しているように見せることができます。




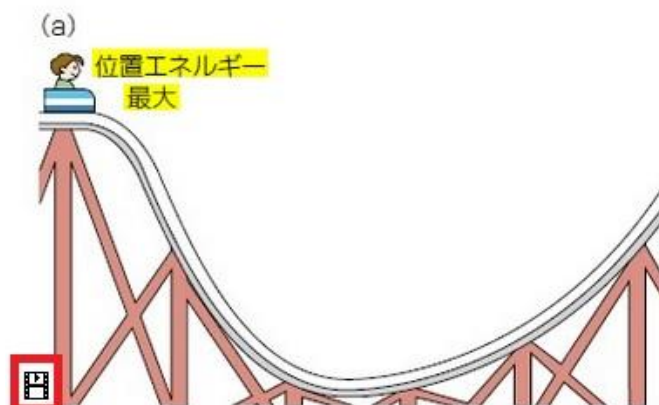
7.2.7. 再生テスト

再生テスト で、アニメーションの確認を行うことができます。



※ アニメーション再生テストは、「アニメーション編集」でのみ行えます。編集画面からは確認できません。


アニメーションが完成したら、**決定** をクリックしてダイアログを閉じ、編集画面に戻ります。アニメーションが設定された画像部分は左下に  のアイコンが表示されます。



8. 変換とダウンロード

作成した文書は DAISY 2.02 フォーマットのマルチメディア DAISY、音声 DAISY、EPUB3 などに変換して、お使いの PC にダウンロードできます。

以下では DAISY 2.02(マルチメディア)に変換してダウンロードする例を紹介します。

1. 文書管理で、ダウンロードしたい文書を選択し、 をクリックすると、「変換設定」ダイアログが表示されます。



※ 表示されない場合は、「補足 ポップアップの許可」をご覧ください。

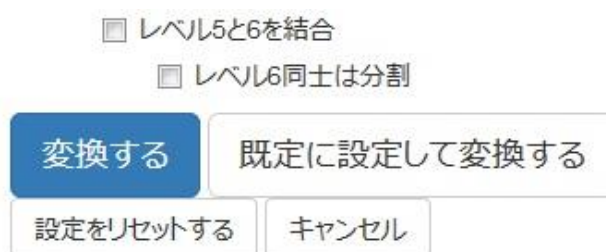
2. 左側の項目から、ダウンロードしたい形式を選択します。例では DAISY 2.02(マルチメディア)を選択しています。



3. 右側の部分で、タイトルなどの情報の入力、音声、数式などの変換設定を行います。スクロールすることで、次の項目が表示されます。



4. 入力、設定が完了したら、設定部分の一番下にある **変換する** をクリックします。



5. 文書管理に自動的に戻ります。変換中の文書の右側に「DAISY 変換中…」と表示されますので、処理が終了するまでしばらくお待ちください。



6. 変換が完了すると、文書の右側に「DAISY 形式」と表示されます。カーソルを「DAISY 形式」に合わせてクリックすると、ファイルの保存を確認するウィンドウが表示されますので、任意のフォルダに保存します。



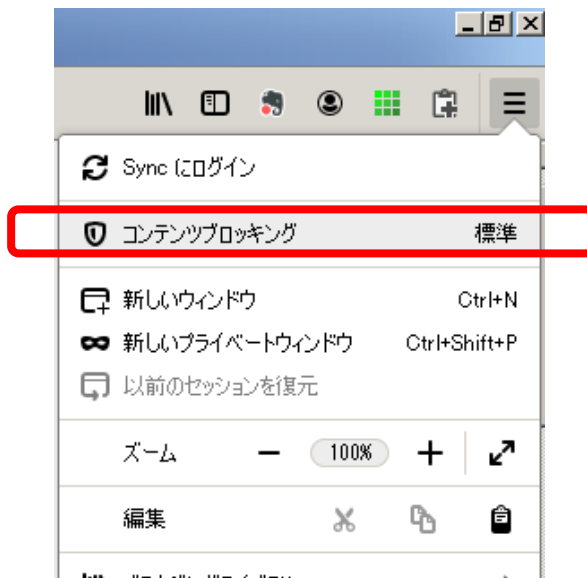
- ※ 変換後のダウンロード期限は **48 時間**です。「DAISY 形式」にマウスオーバーすると、残り時間が表示されます。期限を過ぎると変換データは自動的に削除されます。

9. 補足 ポップアップの許可

ブラウザのポップアップブロックにより、ウィンドウが表示されないことがあります。以下は Firefox の場合です。



この場合、[コンテンツブロック] をクリックして、[許可設定]から「ポップアップウィンドウをブロックする」の右にある[許可サイト]を選択して、許可するサーバーを入力して、[許可]ボタンを押してリストに加えてください。





(「https://infty.k.tsukuba-tech.ac.jp」の部分(は)接続するサーバーにより表示が変わります)

MEMO

発行 2019年6月25日

編集・発行

社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4

TEL 03-3209-0241

<https://infty.k.tsukuba-tech.ac.jp/Editor/>